



5 名護七曲り

かつて、許田から名護市街までの約8km区間、名護湾に沿った地形はカーブが多かったため「七曲り」と呼ばれていました。現在は国道58号として整備され、ゆるやかな曲線道路となっています。当時の面影はありませんが、丘陵地のテッポウユリや轟の滝など名所が多い所として有名です。



4 旧世富慶橋

国道58号から国道329号に入ったすぐの地点に、世富慶橋があります。この橋は1953(昭和28)年にできたもので現在も使用されていますが、国道58号の整備に伴い、新たに新世富慶橋が設けられています。



3 名護番所跡

その昔、名護番所は西の今帰仁間切、北の羽地間切への合流地点として重要な役割をこなしていました。現在、番所跡は名護博物館になっており、その敷地を囲む樹齢600年のフクギ群は沖縄県指定天然記念物に指定されています。



2 羽地大橋

羽地大橋は1991(平成3)年に伊差川バイパス改築事業の一貫として建設されました。以前の国道は住宅密集地の中を通過しており、道幅が狭く見通しが悪く危険でした。また、朝夕の道路も混雑する状態でした。羽地大橋は海側を通る道路となっていて、橋からの羽地内海の眺めはとてきれいです。

1 屋我地大橋

本島と屋我地島を結ぶ全長300m、幅員12.5mの橋。1953年に完成した初代の橋は、1960年、南米チリで起こった地震がもとで発生したチリ地震津波により流失。その後2代目の大橋が1963年に復旧されました。1993年に開通した現在の橋は3代目になります。



6 道の駅 許田

県内第1号の道の駅。道路情報ターミナルでは道路情報や観光情報、気象情報・運行情報等の提供、仮眠室、道路パネル展示のほか、ロビーではイベント等も。やんばる物産センターでは北部市町村の特産品などを販売しています。



8 名護横断道路

東シナ海側から太平洋側に抜ける国道329号は、名護横断道路とも呼ばれる道路で、やんばるの樹海を眺望できるコースです。名護横断道路は一部山間部が橋梁になっているため、道路下を小動物が行き来することができ、自然に優しい道路です。



7 旧許田橋

名護の七曲りの入り口にあたり、戦後1951(昭和26)年に一号線の舗装道路工事の際に架けられた橋です。明治時代には5寸(15cm)程の幅の板を置いて渡っていたといわれ、大正時代にコンクリート橋が架けられましたが、戦争で破壊されました。

9 辺野古の一里塚

辺野古社交街入口付近にある1996(平成8)年に復元された一里塚。現在の米軍基地内にあった一里塚を国道329号の開通に伴って移設したものです。長径4.5m、短径4.0mの楕円に、約60cmの高さで石積みをめぐるし、2mの高さに土を盛った塚が対をなしています。



10 ロックシェド

国道331号名護市安部にはロックシェドというコンクリートでできた、強い防護壁があります。これは山側から道路への落石や土砂を防ぐ役割をしています。

やんばるの樹海を眺望できるコースです。名護横断道路は一部山間部が橋梁になっているため、道路下を小動物が行き来することができ、自然に優しい道路です。

名護市 なるほどマップ

